

岩城中学校職場体験学習

令和5年7月3日(月)から7日(金)までの5日間、岩城中学校2年生の亀井哲翔さんの職場体験学習を行いました。消防車両や資器材の点検に始まり、放水訓練、救助訓練など、初めて体験する消防の仕事にとまどいながらも、最後まで真剣に取り組んでいました。



▲ ロープ降下訓練



▲ 放水訓練の様子 放水する亀井さん(右側)



第2回 幼年消防クラブ

7月の3日間で、町内の各保育所において、第2回幼年消防クラブを行いました。花火を楽しむ機会が増える夏休みを前に、園児たちは消防職員から正しい花火の遊び方や、使用時の注意点についての話を真剣に聞いていました。その後、防火DVDを鑑賞し火災の恐ろしさを学びました。また、屋外では水消火器の取り扱い体験を実施しました。



岩城保育所 7/11 (火)



弓削保育所 7/13 (木)



生名保育所 7/14 (金)

消防団新人研修会

令和5年7月2日(日) 消防庁舎駐車場内において、消防団新人研修会を実施しました。

この研修会では、入団3年以下の団員の基本動作や技術習得を目的に行われ、訓練礼式やホース延長訓練を実施しました。



▲ 訓練礼式の様子



▲ ホース延長の様子

消防団夏季幹部講習会

令和5年7月9日(日) 消防庁舎(2F)において、班長以上の団員を対象とした消防団夏季幹部講習会を実施し、消防職員の安全管理についての講習会を実施しました。

研修会の様子▶



令和5年6月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R5累計
火災	0	0	0	0	0	0	1
救急	24	8	6	0	1	39	220

(令和5年6月30日現在)

【上島町消防本部・消防署】 ☎77-4118
【消防防災課】 ☎77-3166

1 被害

ミカンサビダニは、カンキツ類にしか発生しないダニ目フシダニ科の害虫で、昔からカンキツ類の重要害虫とされ、加害されると果皮が黒褐色に変色して外観を大きく損ないます(写真1参照)。一定の農薬散布を行えば被害が全果実に及ぶことはありません。前年

近年、夏の気温が異常に高く酷暑(こくしよ)という言葉をよく耳にしますが、こうした気象の変化は、カンキツ栽培では、日焼け果実の増加や害虫の異常発生が見られることがあります。年次により発生にムラがありますが大発生して大きな被害となることのある「ミカンサビダニ」という害虫について解説します。



2 発生の特徴

成虫の大きさは0.2mmと非常に小さく、肉眼では識別ができませんが、形体はくさび型をしています(図1参照)。高温下では短期間に生育(28℃で卵から成虫まで平均7.3日で成長)し、産卵数も増加(28℃下で1雌が30卵程度)することから、短期間に増殖します。虫が小さいので被害が出てから初めてミカンサビダニの発生に気づきます。最近の夏の天候は高温・少雨で経過することが多く増殖には好適条件となります。越冬は芽の隙間で行い、新芽が出ると葉の上で繁殖が始まり開花を経て果実



写真1 ミカンサビダニ被害(レモン)

に被害果が見られた園地では翌年にも被害が出る可能性が高いので注意が必要です。

3 防除法

本虫は農薬には弱く防除は容易です。ただし、農薬のかけムラや散布間隔が開きすぎたりすると思わぬ被害が発生することがあります。葉の上や幼果で繁殖中の6月～7月にていねいに農薬散布を行うことで被害が発生するほどの密度にはならないといわれています。

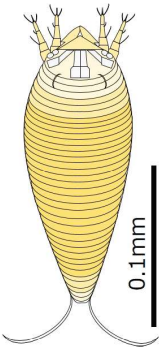


図1 ミカンサビダニの形体



に移動して果実上で一定以上増えると果皮が黒く変色してきます。被害は8月頃から10月頃まで見られ、最初は樹内の数個が黒く変色するので、園内を注意深く観察して初期発生を察知することが重要です。

表1 ミカンサビダニの年間防除体系(JAおちいまばり防除暦)

月	旬	農薬名(倍数)	対象害虫
6	上旬	・モベントフロアブル(2000倍)	カイガラムシ類、ミカンサビダニ(ホコリダニ)
	下旬	・コテツフロアブル(6000倍)	ミカンサビダニ、アザミウマ類
7	中～下旬	・ハチハチフロアブル(2000倍)	ミカンサビダニ、アザミウマ類、アブラムシ類
8	中～下旬	・ダブルフェースフロアブル(2000倍)	ミカンハダニ、ミカンサビダニ
9	上～	・アグリメック(2000倍)	ミカンサビダニ、アザミウマ類
10		・ダニゲッターフロアブル(2000倍)	ミカンハダニ、ミカンサビダニ

す。8月以降は、定期防除を行い、被害果の発生が見られたら応急防除を行うことで大きな被害にはなりません。最近では他の害虫と同時に防除ができる農薬が多く採用されているので、定期防除をしっかりと行えば被害に結びつくことはないと考えます。